

平成27年5月25日

平成27年度 燧灘カタクチイワシ卵稚仔調査 (第4回 5月下旬分)

香川県水産試験場 環境資源部門 (藤田)
TEL 087-843-6511/ FAX 087-841-8133

○カタクチイワシ卵の出現状況

卵が前年、平年より多く出現した。

前年	平成26年5月22日	(17点の平均)	10.5 個/m ³
前回	平成27年5月14日	(7点の平均)	26.8 個/m ³
今回	平成27年5月21日	(17点の平均)	32.2 個/m ³
※5月中下旬の平年値			11.9 個/m ³

○カタクチイワシ稚仔魚の出現状況

稚仔魚が前年、平年より多く出現した。

前年	平成26年5月22日	(17点の平均)	1.8 尾/m ³
前回	平成27年5月14日	(7点の平均)	5.0 尾/m ³
今回	平成27年5月21日	(17点の平均)	4.3 尾/m ³
※5月中下旬の平年値			2.0 尾/m ³

○プランクトン調査

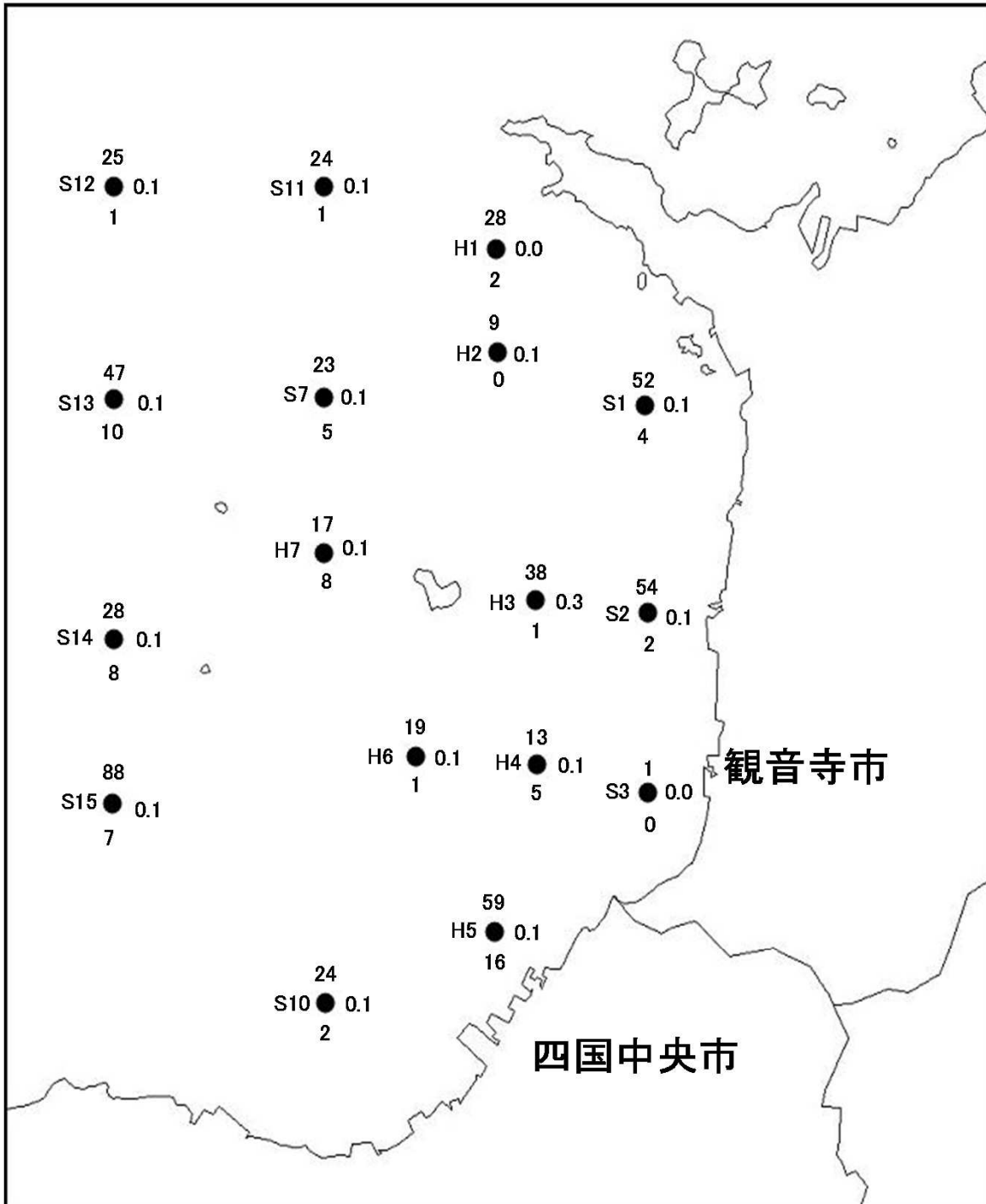
プランクトン量では、ノクチルカ(夜光虫)がほぼ全ての調査点で優占した。定点H3ではカイアシ類(主にミクロセテラ)が優占した。
カタクチイワシの餌となるカイアシ類は平年より少なかった。

次回の調査は6月1日(月)の浅海定線調査に合わせて実施予定

※今年度から、卵稚仔採集数の記載を、

1曳網当たりから、海水1m³(≒1トン)あたりに変更しました。

カタクチイワシ卵稚仔採集状況(2015/5/21)



●の上側がカタクチイワシ卵数/m³を
下側がカタクチイワシ稚仔数/m³を、
右側がカイアシ類量(ml/m³)を示す。
※カイアシ類量は、プランクトン採集量

(0.335mm以上)に占めるカイアシ類のおおよその割合から算出した概算値。

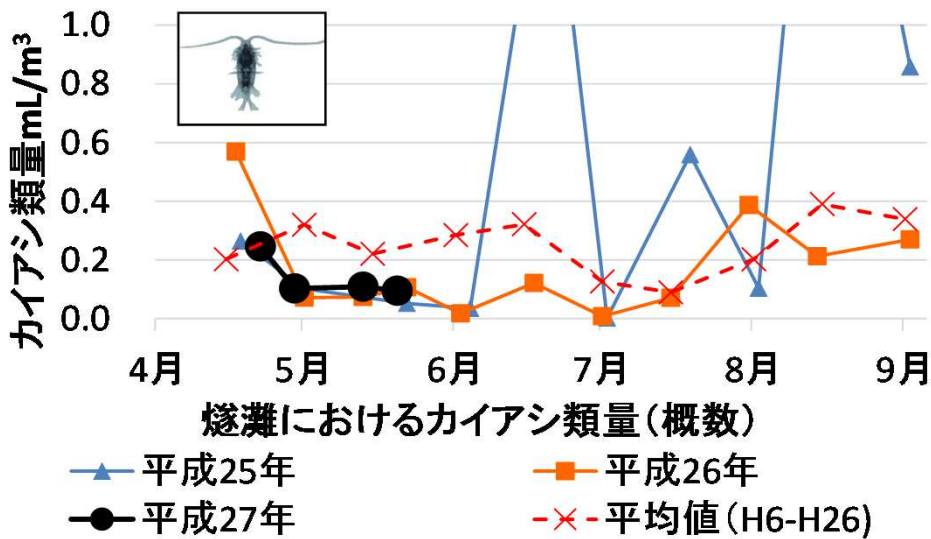
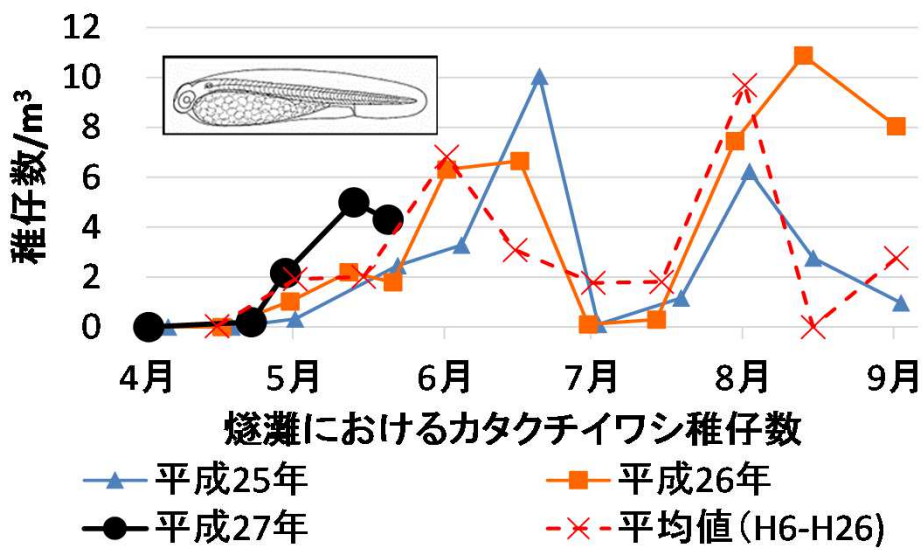
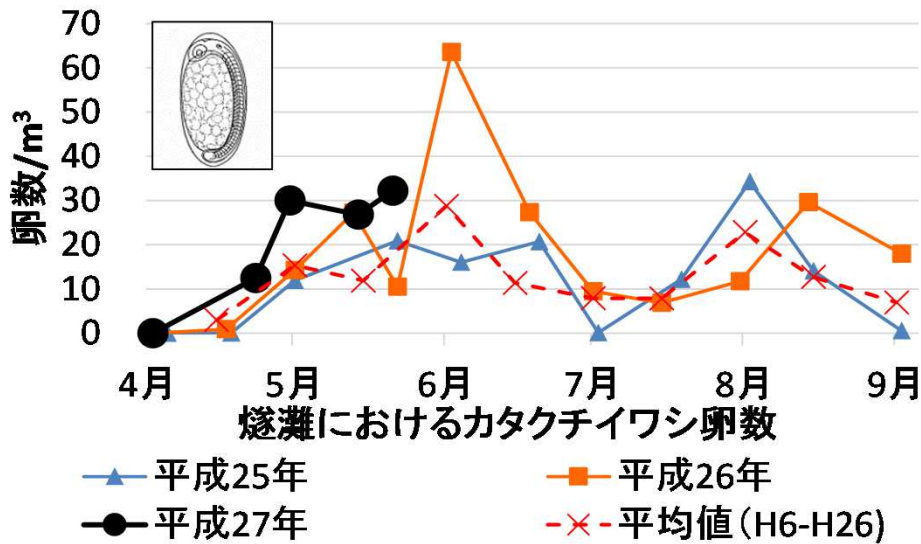
21 ← 卵数
凡例 ● 0.6 ← カイアシ類量
5 ← 稚仔数

平成27年度燧灘カタクチイワシ卵稚仔調査(4回目)

調査日: 2015/5/21

S T	曳網水深 (m)	表水温 (°C)	カタクチ卵	マイワシ卵	その他卵	カタクチ稚仔	マイワシ稚仔	その他稚仔
H1	20	19.3	28	0	2	2	0	0
H2	20	19.6	9	0	0	0	0	0
S1	20	20.0	52	0	1	4	0	1
S2	20	18.9	54	0	0	2	0	0
H3	20	19.6	38	0	0	1	0	0
S3	18	21.1	1	0	2	0	0	1
H4	20	20.3	13	0	3	5	0	1
H5	20	20.0	59	0	9	16	0	2
S10	20	19.6	24	0	3	2	0	1
H6	20	19.2	19	0	0	1	0	1
H7	20	18.7	17	0	1	8	0	1
S7	20	18.7	23	0	1	5	0	2
S11	20	19.2	24	0	8	1	0	1
S12	20	18.5	25	0	3	1	0	2
S13	20	18.1	47	0	1	10	0	4
S14	20	18.1	28	0	1	8	0	1
S15	20	18.5	88	0	6	7	0	2
7点平均		19.5	26	0	2	5	0	1
平均		19.3	32	0	2	4	0	1

※なお7点平均は浅海定線調査を行っているH1～H7の平均 ※採集数はm³当たりの数



※カイアシ類量は、プランクトン採集量(沈殿量)に占めるカイアシ類のおおよその割合から算出しています。餌料環境の目安としてご参照ください。